

令和8年(2026年)4月30日		
所 属	公園計画・21世紀の森担当	まちづくり戦略推進担当
所属長	富田 聡一郎	井尻 勝久
電 話	06-6489-6530	06-6489-6620

多世代が集う憩いの場、遊びの場として大物公園をリニューアルオープン

令和8年(2026年)5月4日に大物公園が「多世代が集う憩いの場、遊びの場」としてリニューアルオープンします。

尼崎市は、小田南公園に阪神タイガースファーム施設を誘致した小田南公園整備事業をはじめ、阪神大物駅周辺における老朽化した公園・緑地を一体的に再整備、機能再編することで、公共空間

を中心とした「にぎわいの創出」や「地域の活性化」を実現するため「阪神大物駅周辺地区における公園・緑地再整備基本方針」を令和3年(2021年)11月に策定しております。

この基本方針に基づき令和7年(2025年)3月のゼロカーボンベースボールパーク(小田南公園)の開業に引き続いて、このたび大物公園がリニューアルオープンします。



1 事業の概要

阪神大物駅周辺の公園・緑地を一体的な空間として捉え、再整備、機能再編することで地域の活性化や観光地域づくりといったまちの再生に取り組みます。

2 リニューアルオープンする大物公園の主な特徴

▼インクルーシブ対応の遊具広場

子どもの多様な発達特性に配慮し、誰もが安心して楽しめる全面人工芝を敷き並べた遊具広場です。尼崎市では初となる大型のインクルーシブ遊具やロープウェーなど魅力的な遊具が備わっています。

▼芝生広場

園内中央には天然の芝生広場があり、様々な過ごし方を楽しめる空間となっています。

空気を使った市内初の遊具「ふわふわドーム」もあります。時間を忘れて過ごすことができます。(対象年齢6歳から12歳まで)

▼蒸気機関車 D51

今にも走り出しそうな蒸気機関車が皆さんの来園をお待ちしています。再塗装で生まれ変わった姿を見に来てください。

▼脱炭素の取組み

芝生広場内の園路にはソーラーパネルを搭載したブロック舗装材を設置しています。太陽光発電を通じて脱炭素の取組を推進します。

3 オープニングイベントの開催

ゴールデンウィークの3日間(5月4日(月)から5月6日(水))、大物公園のリニューアルを記念したオープニングイベントを実施します

※参照URL : https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/tosi_seibi/koen/1027391/1043142.html

大物駅周辺再整備事業の概要

令和3年11月策定

「阪神大物駅周辺地区における公園・緑地再整備基本方針」

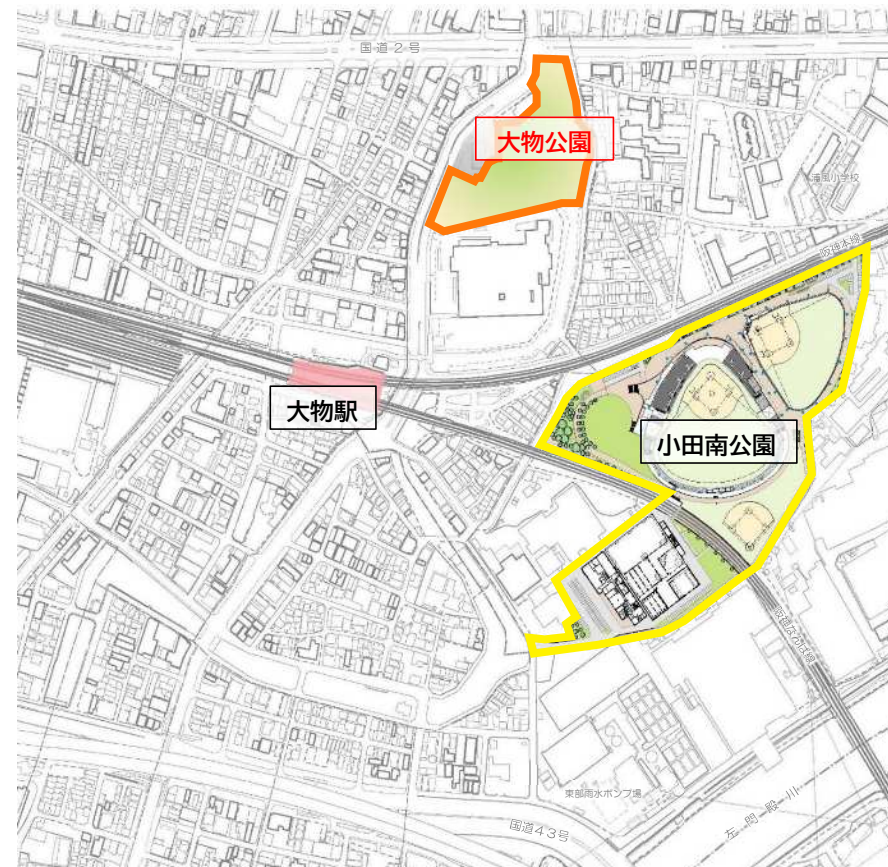
→大物駅周辺の公園緑地の再整備や機能再編による地域活性化、観光地域づくりといったまちの再生を推進する事業（全3期行程）

第1期行程 小田南公園の再整備

- ①小田南公園（ゼロカーボンベースボールパークの建設等）の再整備により、多目的広場を含む公園全体が使用不可に
- ②同エリア内で広場機能を確保するため、小田南公園再整備工事の着手までに大物公園の樹木整理を実施し広場として整備
- ③令和7年3月1日、「ゼロカーボンベースボールパーク（小田南公園）」オープン

第2期行程 大物公園の再整備

- ◆令和8年5月4日に、多世代が集う憩いの場、遊びの場を目指し、大物公園をリニューアルオープン
- ◆憩い、レジャー等に利用できる芝生広場を園内中心に配置し、インクルーシブ遊具を含む遊具広場やトイレの整備、また、蒸気機関車D51を活かした魅力的な公園としてリニューアル！



当日のイベント内容は
次ページで紹介！



5月4日(月)～6日(水) 大物公園リニューアルオープンイベント実施！



蒸気機関車D51



複合遊具



芝生広場



インクルーシブブランコ



ふわふわドーム



ロープウェー

【リニューアルオープン期間中のイベント】

- ◆テープカット（小田中学校吹奏楽部演奏 → 市長挨拶等 → テープカット）
- ◆蒸気機関車D51の一般開放（尼崎デゴイチの会による案内）
- ◆みんなの尼崎大学～大物公園を使いこなす大会～（公園を楽しむ使い方を、市民の皆さまと一緒に、実験・実践しながら考える）
- ◆エ虎クイズラリーサテライト（ゼロカーボンベースボールパークの人気企画）
→ 4日～6日のSGL「こどもまつり」に合わせて開催
大物公園がサテライト会場として初登場。大物公園でクイズに答えると、ゼロカーボンベースボールパークとは別にオリジナルノベルティをプレゼント

今後の大物駅周辺再整備事業

第3期行程 更なる魅力向上に向けて

◆社協会館跡地活用

大物公園に隣接する社協会館跡地にカフェ等事業者を誘致
→大物公園との一体的な活用

◆大物川緑地の再整備

利用者の快適性向上や滞在時間を伸ばす取り組みを展開
→周辺住民との意見交換を実施（全4回）し、ゾーニング案を整理
→ゾーニング案をもとにワークショップや社会実験を実施し成案化

①子どもの遊び場

→遊具広場に加えボール遊びができる魅力が詰まった遊びの空間へ

②地域交流の場

→地域交流の拠点を目指し、樹木を整理し行事ができる空間へ

③学びの場

→歴史資源である既存の能舞台を生かした趣のある空間へ

④健康づくりの場

→健康遊具等を設置し、日常の健康増進を促す

⑤駅前の賑わい創出の場

→駅の玄関口として、イベントや人々の交流の場となるオープンスペースへ

